

## 「学校評価アンケート」結果のお知らせ

保護者の皆様にご協力をいただいて実施した「学校をよりよくするためのアンケート」および、関連して実施した児童、保護者、教職員アンケートの集計結果をお知らせします。結果を基に学校としての課題を見据え、来年度の学校運営や教育活動に生かしていきたいと思っております。

### 1 アンケート結果一覧表について

アンケート結果を分析し、学校をよくしていくための方向性を探るために、以下のような考察の観点を設けました。

#### 考察の観点

- (1) 児童にとって楽しい学校であるか
- (2) わかりやすい授業を実施しているか
- (3) 健康づくり教育の成果はあがっているか
- (4) 今日の課題への対応はどうか

さらに、アンケート結果を観点ごとのまとまりに集め、児童や保護者、教職員の見方や感じ方を比較しやすいように上下に並べました。（【注】「児:児童」「保:保護者」「教:教職員」）

### 2 アンケート集計の方法について

各質問の回答は、以下のような5段階で統一しました。

- 1 : よくあてはまる      2 : だいたいあてはまる      3 : あまりあてはまらない
- 4 : ほとんどあてはまらない      5 : わからない

また、1回答につき、1…3点、2…2点、3…1点とし、各質問に対する得点を、以下の数式によって100点満点で算出しました。

$$\text{得点} = \frac{(1\text{の回答数} \times 3 + 2\text{の回答数} \times 2 + 3\text{の回答数} \times 1)}{1 \sim 4\text{の全回答数}} \div 3 \times 100$$

さらに、得点による評定（A～D）を、以下のようにしました。

- A : 80点以上      B : 60点以上80点未満      C : 40点以上60点未満      D : 40点未満

### 3 三者（児童・保護者・教職員）集計結果の比較一覧

大項目	中項目	評価者	質 問	回答分布				大項目	得点	評定	の中項目 得点目	の中項目 評定目
				よくあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	わからない	得点	評定			
児童にとって楽しい学校であるか	全般	児	私は、学校が楽しい。					80.6	A	77.7	B	
		保	お子さんは、学校を楽しんでいる。					78.1	B			
		教	私は、児童が学校を楽しめるよう努めている。					74.4	B			
	授業全般	児	私は、授業が楽しい。					68.4	B	69.3	B	
		保	お子さんは、授業を楽しんでいる。					66.8	B			
		教	私は、児童が授業を楽しめるよう努めている。					72.6	B			
	神田・地域学習	児	私は、地域のことを学んだり、地域の人たちと学習したりすることが楽しい。					67.8	B	69.9	B	
		保	地域のことを学んだり、地域の人たちと学習したりする「神田学習」は、お子さんにとって役立っている。					76.8	B			
		教	私は、「神田学習」において、体験学習が児童の成長につながるよう努めている。					65.2	B			
	校内行事	児	私は、運動会や神ちゃんフェスタなどの学校の行事が楽しい。					83.8	A	80.8	A	
		保	お子さんは、運動会や神ちゃんフェスタなどの学校行事に魅力を感じ、楽しく参加している。					83.5	A			
		教	私は、学校行事が、児童にとって魅力あるものとなるよう努めている。					75.0	B			
	夢・希望	児	私は、夢や希望をもって生活している。					77.6	B	73.4	B	
		保	お子さんは、夢や希望をもって生活している。					71.3	B			
		教	私は、児童が夢や希望をもって生活できるように努めている。					71.3	B			
	クラブ活動	児	私は、クラブ活動が楽しい。					89.4	A	77.8	B	
		保	お子さんは、クラブ活動に楽しく参加している。（4年以上）					65.0	B			
		課外クラブ活動	児	私は、課外クラブ活動（陸上、自転車、サッカー、バスケットボール、金管）が楽しい。	73.8				B			
	保		お子さんは、課外クラブ活動（陸上、自転車、サッカー、バスケットボール、金管）に楽しく参加している。					56.7		C		
	交友関係		児	私には、親切でやさしい学校の友だちがいる。						90.9	A	81.3
		保	お子さんには、互いに励まし合ったり、相談し合ったりできる友達がいる。					74.0	B			
教		私は、児童が望ましい交友関係を作るよう努めている。					79.0	B				

大項目	中項目	評価者	質 問	回答分布		得点	評定	の中項目 得点	の中項目 評定
				<input type="checkbox"/> よくあてはまる <input type="checkbox"/> だいたいあてはまる <input type="checkbox"/> あまりあてはまらない <input type="checkbox"/> わからない <input type="checkbox"/> ほとんどあてはまらない					
わかりやすい授業を実施しているか	指導方法	児	先生は、私が授業でわからないところをていねいに教えてくれる。		78.7	B	67.4	B	
		保	お子さんの学習指導において、個に応じた指導がなされている。		63.7	B			
		教	私は、個に応じた学習指導ができるよう、努めている。		70.2	B			
		児	算数で学級を2つに分けて勉強する方が、全員で勉強するよりわかりやすい。		65.7	B			
		保	算数における少人数指導（教師2人体制指導）や支援員制度は、お子さんの学力向上に役立っている。		68.8	B			
		教	私は、少人数指導（TT指導）や習熟度別学習など、指導方法の工夫に取り組んでいる。		57.1	C			
	家庭学習	児	私は、宿題などの家庭学習をがんばっている。		81.3	A	74.9	B	
		保	お子さんは、宿題などの家庭学習をする習慣が身についている。		71.5	B			
		教	私は、家庭学習の習慣化を図り、児童の主体的に学ぶ力の育成に努めている。		71.9	B			
	教育環境	児	学校（教室）は、整理整頓されていていたり、掲示物が工夫して掲示してあったりする。		72.2	B	70.0	B	
		保	本校では、よりよい学習環境や生活環境とするために、いろいろな工夫や整備がされている。		67.4	B			
		教	私は、学習や生活の場としての教育環境の工夫や整備に努めている。		70.4	B			
	計指導	教	本校の学校行事と教科学習とのバランスがとれている。		64.2	B	64.2	B	
	評価	児	先生は、学習で努力したことに気づき、ほめてくれる。		69.8	B	71.8	B	
		保	お子さんは、学習で努力したことが認められ、適正に評価されている。		70.3	B			
		教	私は、学習で、児童の努力したことを認め、適正に評価するよう努めている。		75.3	B			

大項目	中項目	評価者	質 問	回答分布		得点	評定	の中項目 得点	の中項目 評定
				■ よくあてはまる ▨ だいたいあてはまる ▩ あまりあては まらない □ わからない	■ よくあてはまる ▨ だいたいあてはまる ▩ あまりあては まらない □ わからない				
健康づくり教育の成果はあがっているか	全般	児	私は、健康な心と体をつくることを考えながら生活している。		74.9	B	69.6	B	
		保	お子さんは、健康な心と体をつくることを意識して生活している。		63.1	B			
		教	私は、子どもたちの健康な心と体づくりを意識して指導している。		70.8	B			
	基本的 生活習慣	児	私は、家族や地域の方、友達や先生に自分からあいさつができる。		75.9	B	70.2	B	
		保	お子さんは、家族や地域の方、友達や先生に自分からあいさつができる。		65.9	B			
		教	私は、児童が自分からあいさつできるよう指導している。		72.2	B			
		児	私は、「早寝、早起き、朝ご飯」を守って生活している。		67.3	B			
		保	お子さんは、「早寝、早起き、朝ご飯」が習慣化している。		68.0	B			
		教	私は、児童が「早寝、早起き、朝ご飯」を守って生活できるよう努めている。		66.7	B			
		児	私は、外で元気に遊んだり、何かスポーツをしたりして運動をよくしている。		82.7	A			
		保	お子さんは、学校や家庭で（習い事を含む）、適度な運動をしている。		69.8	B			
	教	私は、日常生活の中で、児童が主体的に運動するよう指導している。		63.5	B				
	心の健康	児	私は、学校や社会のルールやマナーを大切に守ろうとしている。		81.3	A	73.8	B	
		保	お子さんは、学校や社会のルールやマナーを大切に守ろうとしている。		76.4	B			
		教	私は、集団生活に必要なルールを身につけたり、マナーを育成したりすることに努めている。		83.9	A			
		児	私は、困ったことがあったとき、先生に気軽に相談できる。		64.5	B			
		保	お子さんは、困ったことがあったとき気軽に先生に相談できる。		59.3	C			
		教	私は、児童が気軽に相談してこられるように心がけている。		75.0	B			
		児	私は、先生やお家の人から間違っ た行動を注意されたとき、素直に 間違いを正している。		77.0	B			
		保	お子さんは、保護者や先生から間違っ た行動を注意されたとき、素直 に間違いを正している。		66.9	B			
	教	私は、児童の間違っ た行動に、 しっかりと対応をしている。		80.0	A				

大項目	中項目	評価者	質 問	回答分布		得点	評定	の中項目 得点目	の中項目 評定目	
				■ よくあてはまる □ まらない	▨ だいたいあてはまる ▨ ほとんどあてはまらない □ わからない					得点
学校運営の機能はどうか	教育目標	保	本校の教育目標や教育活動など、全体的な教育のあり方は理解できる。		70.3	B	69.6	B		
		教	本校は、本校の教育目標や経営方針、本年度の指導の重点などの共通理解のもと、組織としてその実現に向け努めている。		68.9	B				
	学校運営組織	教	本校は、学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。		84.4	A	70.3	B		
		教	本校は、本校の教育課題について、教職員でよく話し合っている。		68.0	B				
		教	本校は、適材適所な校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組めるように努めている。		53.6	C				
		教	本校は、職員会議等の会議の結果が、教育活動や学校運営に生かされている。		70.7	B				
		教	本校は、日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合える職場の人間関係ができています。		74.7	B				

大項目	中項目	評価者	質 問	回答分布		得点	評定	の中項目 得点	の中項目 評定
				<input type="checkbox"/> よくあてはまる <input type="checkbox"/> だいたいあてはまる <input type="checkbox"/> あまりあてはまらない <input type="checkbox"/> わからない	<input type="checkbox"/> ほとんどあてはまらない				
今日的課題への対応はどうか	特色ある学校	保	本校の教育活動には、他校にない特色がある。		68.7	B	69.9	B	
		教	本校は、特色ある教育活動を実施している。		71.1	B			
	開かれた学校	児	私は、学校で配付されたお便りなどを、しっかりおうちの人に見せている。		80.3	A	75.7	B	
		保	お子さんは、学校で配付されたお便りなどを、しっかり保護者に見せている。		75.0	B			
		教	私は、学年だより・ホームページなどで、学校の様子を計画的に伝えている。		76.0	B			
		保	本校の様子は、学校だより、学年通信、ホームページ、学校公開等を通して分かりやすく伝わっている。		76.1	B			
		教	本校は、学校だより等各種お便り、ホームページ、学校公開などを通して分かりやすく情報発信している。		84.5	A			
		保	本校は、積極的に家庭や地域との連携・協力を努めている。		72.7	B			
		教	私は、家庭や地域と連携した教育活動を推進している。		65.3	B			
	いじめ不登校対策	保	本校では、担任や学校に困り事の相談等をしたとき、誠意をもって対応している。		72.6	B	75.4	B	
		教	本校では、保護者からの相談や訴えについて、誠意をもって対応している。		83.3	A			
		児	先生は、いじめなど困ったことが起こらないように気をつけたり、考えたりしてくれる。		76.9	B			
		保	本校では、生活指導において、個々の状況に応じた指導がなされている。		67.1	B			
		教	私は、実態を把握し、個に応じた生活指導ができるよう努めている。		77.3	B			
	学校安全	保	本校では、病気やけが、事故や事件に対して、素早い連絡と適切な対応がなされている。		76.6	B	76.8	B	
		教	本校は、病気やけが、事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう努めている。		84.4	A			
		保	本校では、子ども達の安全を守るための指導や対策が講じられている。		71.9	B			
		教	本校は、安全対策に全校体制で取り組んでいる。		74.7	B			
		教	本校は、様々な問題行動の防止のための早期指導に取り組んでいる。		78.2	B			
		教	本校は、施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。		74.7	B			
	教員研修	教	本校は、校内研修が計画的に行われており、教育実践に役立っている。		66.7	B	55.0	C	
		教	私は、校内及び個人の研修・研究の成果を論文や紀要にまとめることに努めている。		43.3	C			

## 4 保護者アンケート（学校に対する意見）

「○」……よい点 「・」……改善点

※個人が特定できるものについては直接本人に伝え、ここへの掲載は省きました。

### （１）教育活動全般について（地域（神田）学習等）

- 自然が多い。地域との関わりがあり、登下校以外でも顔が分かること。
- 給食の後、本を読む時間があるのはいい。
- 地域交流の行事も続けてほしい。
- 地域の方を招いての授業や学習は、とてもよいことだと思います。学校外で会った際に、自然に挨拶をしている姿を見てとても感心しました。
- タブレット導入でさまざまな情報を自ら調べることができてよいと思いました。
- 神田学習は、とてもよいと思います。ぜひ、続けていただきたいです。
- 地域の方の協力で、いろいろのことが学べ、体験でき、学習できるのでよいと思います。
- 地域のことについて詳しくなっていると思います。私自身、ここが地元ではないので、神田のことを知ることができて役立ちます。
- 子どもが生き生きとして、子どもらしく生活している。
- 校外学習で、自ら歩き、校区内を調べることは、興味をもちやすかったり、知識を深めやすかったりしてよいと思います。
- 地元のことを学ぶのはとてもよいと思います。自分の住んでいる地域を大好きになってほしいです。
- ペア学級で活動する機会が多いことがとてもよいと思います。これからも続けてほしいです。
- 1年生でもALTの授業があることがよい。他地区だと高学年のみだと聞いたので。
- ドリル時間があるのがよい。
- かけ足運動があるのがよい。
- 学校の縦のつながりを大事にしているところがよい。
- ペア活動など違う学年との触れ合いはとても素敵だと思います。
- 運動に力を入れているところがよい。
- 算数の少人数制のやり方は、とてもありがたいです。
  - ・運動能力が落ちているので、昔流行ったゴムとび「ゴムだん」を大放課に「神ちゃんギネス」のような形でやらせてはどうか。ゴムなのでけがをしないし、場所もそんなにとらない。
  - ・タブレット導入後も、あまり授業に取り入れられていないと子どもから聞きます。実際はどうなのでしょう。ホームページでもよいので様子を載せてください。
  - ・日本人にとって、漢字もとても大切なので、ぜひ、漢字にも力を入れてほしいです。
  - ・あすなろは、特別な学習がありますが、普段通りの生活に切り替わるときどうしても楽しい方へ向いてしまう。わくわく展は、行った方がよいのでしょうか。本人たちの息抜きで必要なのでしょうか。

### （２）教職員について

- 校長先生自ら、子どもと同じ目線でいろいろなことに挑戦したり、分かりやすく話をしたりしていただいているところが、とてもよいと思います。子どもが卒業するまで異動しないでいただきたいですが…。
- 先生方、みなさん一生懸命やってくださっていると感じる。
- 子どもたちのことをよく考え、指導されていると思います。
- のびのびとやってくださっていると思います。
- 一人一人の児童に誠意ある対応いただいていると感謝しています。ありがとうございます。
- 校長先生がとても親しみやすく、子どもたちの目線で考えてみえるところがよいと思います。
- 先生と保護者、地域で協力して子どもたちを見守っているところがよいと思います。
- まだ、1年生なのでよくは分かりませんが、校長先生をはじめ先生方が、子どもが楽しく学校生活を送れるように活動してくださっているのを感じます。
- 担任の先生よりいただく学級通信（おたより）は学校の様子がよく分かってありがたいです。
  - ・評価を偏らせないようにしてほしい。（絵ならA君、習字ならBさん、が固定している印象がある。どこの学校もそうだが）
  - ・けんかしたときに、先に手を出されたのにやり返したらすぐ怒られたと聞いた。「やり返ししない」という指導はやめてほしい。先にやった者勝ちで、ずっと我慢をしている方はいつもやられっぱなし。人をたたけばたたき返されることもあると、小さいうちに覚えることも大切。
  - ・特定の落ち着きのない子どもたちのため、授業がなかなか進まないとうわさで聞きます。他児童への影響が大きいと思いますので、もっと厳しく注意、指導すべきだと思います。
  - ・担任が不在やその日の予定が変更になった場合は、連絡帳へ何か簡単に知らせていただけるとありがたいです。
  - ・服装の注意は、子どもにではなく、親に言ってほしいです。
  - ・担任の先生によって方針が違うのは仕方がないのですが、こっちのクラスはピシッ、こっちのクラスはちょっとダラダラではなく、学年全体が同じモチベーションであってほしいです。

- ・うちの子が忘れ物が続いたとき、「先生に怒られないの？」と聞くと「先生優しいから大丈夫！」と言っていました。叱れない先生が増えているとニュースで聞きますが、うちの子が悪いとき（忘れ物が続いたとき、誰かを傷つけたとき、思いやりのない態度をしたとき）は、泣くほど叱ってくれて構いません。愛のある説教をお願いします。うちでも忘れ物チェック、気を付けます。
- ・宿題の内容が子どもの宿題か親の宿題か分からないときがある。

### (3) 行事等について

- 今年の神ちゃんフェスタは、中学校のフェスタと合唱祭みたいな感じになっていて、とてもよかったですと思います。(全校児童の合唱に感動しました)
- 神ちゃんフェスタや運動会など、子どもたちが生き生きし、笑顔で元気に楽しんでいる姿を見ると、私たちも自然と笑顔になるし元気を取り戻せます。先生方の指導も分かりやすく、大きな声なので見ていて楽しいです。
- 行事ごとの校長先生のお話も「なるほど～」とためになることばかりでこちらもまた楽しみにしています。
- 小さい学校のせいなのか、一つにまとまる力はあると思います。運動会で必死に応援している姿、神ちゃんフェスタで高学年のクラスに小さな児童が来て真剣に話を聞いている姿は、ほほえましいですし、児童にとってもよい経験だと思います。
  - ・神ちゃんフェスタを音楽発表会、クラス発表会、劇のように3年ごとにしてはどうか。
  - ・運動会での保護者のテントが年々増えてきている気がします。テントが前の方で並んでいるとその後ろからは周りがほとんど見えません。
  - ・個々で競い合う運動を増やしてほしい。縄跳び大会、マラソン大会等。
  - ・神ちゃんフェスタは、学園祭形式はつまらない。劇等の発表の方がよい。
  - ・神ちゃんフェスタは、個々の発表の時間が長くなったところはよかったのですが、他学年の発表は見に行きづらかったです。
  - ・神ちゃんフェスタは、体育館の大舞台で発表してほしい。よい経験になるのでは。
  - ・毎年、年間行事予定が出るのが4月 PTA 総会のため、遅すぎる。せめて年度末には配付することはできないか。
  - ・神ちゃんフェスタは、全学年劇にしてほしい。その方が見ごたえがある。
  - ・運動会では、競技ばかりでちょっとした発表があってもいい。足が遅い子だったり、運動が苦手な子が全く楽しくないので、お遊戯のようなものを少しでもいいので取り入れてもらえれば、親も子どもが楽しそうにしているを見れると思う。
  - ・神ちゃんフェスタを全学年劇にしてほしい。見ごたえがその方がある。学年によってやるのが違うのはだめだと思う。

### (4) ホームページ・学校だより

- ホームページも毎日、ときには一日に数件も更新されていて、学校の様子が詳しくよく分かりありがたいです。学校だよりも単なるお知らせにとどまらず、毎号読み応えのある記事で楽しみにしています。
- ホームページは、台風のときなどとても助かります。今年の運動会、天気が心配される中、ホームページを見て、「あっ、開催されるんだ！」と伝わりました。細かなことまで話題も載っていて楽しめます。学年ごとの予定表(毎月)や学校だより、いつも丁寧にありがとうございます。
- 学校だよりやホームページがおもしろく、いつも楽しく拝見しています。
- 子どもたちの様子をホームページで見られるところがよい。
- ホームページを見て、更新がとてもマメにされていて、驚きました。まだ1年生で、学校の様子が子どもから伝わりにくい中、ホームページを見ると「こんなことしているんだなあ」とよく分かるのと同時にとても安心します。他にもたくさんの方の仕事を抱えていらっしゃる中での配信、とても感謝しております。いつもありがとうございます。
- ホームページの写真で、学校生活の様子が分かるので安心します。
  - ・ホームページに給食の写真を載せていただけるとうれしいですね。
  - ・ホームページの年間行事予定やおたより類がスマホからでは確認できません。

### (5) 学校公開に関すること

- ・参観日に保護者同士が世間話ばかりしてうるさいので、子どもを見に来ているのかおしゃべりにきているのか不明。
- ・個の発表力というか表現力をもっとつける指導をしてほしいです。プレゼン力がない。高学年では、発表するとき「人に聞かせたい」という気持ちが必要なのは理解できるはず。親が観に来てても下を向いたまま文章を読む子どもばかり。そんな発表はあらゆる意味でおもしろくないということを知ってほしいです。



## (6) 学校安全に関すること（危機管理等）

- ・よく、子どもたちが休日に学校へ遊びに行くのですが、ミニバスを練習したくても校庭にあるバスケットリングは壊れているし、ボールが校庭の外に出てしまうので、もう少し使用しやすいように改善していただけたらと思います。
- ・プールそばの時計を直してほしい。
- ・学校メルマガで不審者情報をもらうが、ほとんどその後の結果が公開されない。（不安が解消されない）
- ・校内の樹木、雑草が生えっぱなしでいつも気になります。大変かと思いますが、もう少し美しく手入れしてくださると子どもたちのためにもなるし、美しい神田小になるとと思います。せっかく緑が多いのだから。
- ・乱暴な子やいじめをしたという子は、地域でも分かっていた方がいいと思う。
- ・訓練のときに、この階段しか使えないと二人が別々の階段で降りた。緊急時はどこの階段を使ってもよいことを子どもたちに伝えていないことに驚いた。トイレもここは使えないと我慢したので約束を守る子どもたちは言われたようにしかできない。緊急の場合はいいこともきちんと伝えてください。

## (7) 登下校中の交通安全や挨拶等について

- ・交通当番で立哨をしていますが、子どもたちは挨拶をしない子が多い。以前のように先生方ももう少し立哨に参加し、指導をしていただきたい。挨拶は基本的なことだと思う。
- ・登下校の道の歩き方は、改善したい。車の前にいきなり飛び出してくる。
- ・挨拶をもっとするようにさせたい。
- ・登下校のときの時間や挨拶、交通ルールやマナーが旗当番をしているときに見ていると、悪いように感じます。学校の中だけでなく、家に帰るまでも指導した方がよいと思います。
- ・登下校中のマナーが悪い。車は危ないと学校でも教えた方がいいと思う。わざと飛び出すので危険。
- ・交通立ち当番で立っただけでも、挨拶できるのは1割の子ぐらい。ホント、挨拶ができない子が多いと痛感しています。誰にでも挨拶は大切です。挨拶運動を取り入れても身に付いていない。家庭でのしつけの範囲でもあるかもしれませんが、集団で元気に挨拶をするという習慣も大切だと思いますが、どうでしょう。

## (8) 課外クラブに関すること

- ・課外クラブ担当の先生は、熱心な先生にしてほしいです。
- ・時間の問題もあると思いますが、課外クラブの練習日・時間などもっと増やした方がよいと思います。
- ・小中音楽祭に行きました。神田の子どもたちもがんばっていましたが、他校との差は歴然だったように思いました。練習量かな。
- ・課外クラブを充実させてほしい。先生方は何かとお忙しいので、地域の方のボランティア募集でもよいので、指導してくださる方と子どもと交流があればよい。

## (9) その他

- クラス数が少ないおかげか、学年関係なく仲良くなれるのでいいことだと思います。
- 児童数が少ない分、人との関わりが密になる。
- 他の学年の子とも、交流があるところがとてもよいと思います。中学に行ったとき、上級生にも知り合いが多いととても心強いです。
- 友達同士、下の名前呼び合うところがとても好きです。男女関係なく下の名前と呼ぶのはとてもほほえましいです。
- ・きらきらチャレンジで、ノーテレビは無理です。主にリビングで生活しているので、他の家族のことを考えると自分の部屋にこもらせるしかないですね。そんなさびしいことはできません。ノーゲームデーにしてはどうですか。
- ・産業文化まつりへの出展が他校に比べ、内容がさびしい気がします。みんなで協同で作品を作るのもよいですが、もう少し学年のレベルに合わせた作品も展示できるとよいかと思います。
- ・「神ちゃんいつでも運動」は家でやる時間がなかなか取れず、負担になっています。趣旨は分かりませんが、必要なのか疑問です。
- ・1・2時間目の間、3・4時間目の間の放課が短くてトイレにも行けないし、お茶も飲めないと言っています。今時は5分の放課は普通なのですか。

## 5 集計結果の考察

### (1) 児童にとって楽しい学校であるか

- ア 学校の楽しさについては、「学校が楽しい」の児童評価が、得点 80.6、保護者が得点 78.1 であった。これは全体で見ると高い得点だが、学年別で見ると最高学年で数値が低くなっている。高学年が充実感を味わえる学校にしたい。
- イ 神田(地域)学習については、「神田学習が役に立つ」の保護者評価は得点 76.8、児童評価は、特に2年と4年が得点 80 以上と高かった。記述式のアンケートからも保護者は、地域学習を中心とした神田学習に期待していることが分かる。今後も、地域の方に協力していただき、生きた学習を継続していきたい。
- ウ 特別活動については、「校内行事」の児童、保護者、教員が、得点 83.8、83.5、75.0 と今年度も高い結果となった。児童が生き生きと取り組めたこと、また、その様子を保護者に見ていただくことができたことが高得点につながったと考える。「課外クラブ活動」は児童の評価は得点 89.2 と高いが、保護者の得点は 75.5 と昨年度より - 6.8 となっている。児童が楽しみにしている分、保護者の指導者に対する期待が大きいことがうかがえる。そうした課外クラブ活動への保護者の思いと教職員の負担感や多忙化解消とで、苦慮するところでもある。
- エ 「夢・希望」の評価は、児童評価の得点 77.6 と向上し、「交友関係」は得点 90.9 で、高得点である。他の項目にないくらい高得点なのは、ペア学年で活動する機会をつくるなど、学校の縦のつながりを大事に指導している結果と考える。クラス数が少ない小規模校の良さを引き続き大切にして、思いやりのある児童を育てていきたい。

### (2) わかりやすい授業を実施しているか

- ア 教員の指導方法については、「わからないところをていねいに教えてくれる」の児童評価は得点 78.7、保護者評価は得点 63.7 で、教員評価は得点 70.2 で、すべて昨年度より得点は上がった。個に応じた指導をしようとする教員の姿勢は、児童に伝わっていると考えられる。授業での指導方法の工夫・改善をさらに続け、保護者の期待に応えられるよう努力したい。
- イ 「少人数指導の効果や工夫」については、児童評価は得点 65.7、保護者評価は得点 68.8 で、教員評価は得点 57.1 で、すべて昨年度より得点は下がった。2年生以上の算数において、少人数指導や TT 指導を行っている。特に、5・6年の少人数指導については、算数の単元により TT 指導にするなど、柔軟な指導方法の工夫に心がけ、効果を高めたい。
- ウ 「家庭学習の習慣化」の児童評価は昨年度より + 5.5 で得点 81.3、教員評価は昨年度より - 9.3 で得点 71.9 であった。本年度の指導の重点である、校訓「自ら求めて」を児童が意識でき、主体的に学ぶ力が徐々に育成されてきたとも考えられる。ずれについては、児童は家庭学習をがんばったと答えているが、教員はもっと力を入れたいと考えている結果であろう。

(3) 健康づくり教育の成果はあがっているか

ア 基本的な生活習慣については、「あいさつ」の児童評価は得点 75.9 で昨年度より+3.0 であった。しかし、保護者評価 65.9、教職員 72.2 で、これらの意識のずれの原因を探り、より具体的な指導へもっていきたい。児童の意識の向上を図るため、教職員でチーム対応して工夫を図りたい。

イ 「適度な運動」の児童評価は昨年度より+ 4.8 で得点 82.7 であった。「家でも運動」や「神ちゃんギネス」に取り組み、主体的に運動する習慣ができたと考えられる。

ウ 心の健康については、「先生に相談できる」の児童評価が得点 64.5 であり、昨年度より得点が向上した。しかし、高学年の児童の得点は低い。また、保護者も得点 59.3 と低い。教員への期待に応えられるよう、より児童に寄り添う、きめ細やかな対応に心がけ、研修を実施して意識改革を図っていかなければならない。

(4) 学校運営の機能はどうか

ア 「教育目標や教育活動の理解」の保護者評価の得点は 70.3 であった。また、「組織として教育目標の実現に向け努めている」の教職員評価の得点は 68.9 であった。教職員同士、交流を多くもって広い視野で児童を見ていく目を養うなど、組織として動く意識改革を図っていききたい。

イ 「適材適所な校務分掌の分担と意欲的に取り組める環境」の教職員評価が、得点 53.6 と低い結果となった。一部の教員の分掌上の負担が大きくなるようにしているが、小規模校であるので一人一人の教員の負担も大きい。前向きに取り組めるよう意識が変えられるとよい。

(5) 今日の課題への対応はどうか

ア 「本校の様子は、学校だより、学年通信、ホームページ、学校公開等を通じてわかりやすく伝わっている」の保護者の評価は昨年度より得点+3.4 で、76.1 であった。小刻みな学校評価を心がけ、学校行事ごとに保護者アンケートを実施し、その結果をホームページにアップしてきた。毎日のホームページ更新にも力を入れてきたかいがあって、得点向上となった。少しずつ家庭や地域に学校の様子を広めることができている。しかし、「他の学校にはない特色がある」の保護者評価は得点 68.7 であるので、本校の特色を生かした教育の意義や魅力を理解してもらえるよう、きめ細かく周知して、開かれた学校を目指したい。

イ いじめ・不登校対策として、「困り事の相談に誠意をもって対応」の保護者評価は得点 72.6 で、教職員評価の得点は 83.3 であった。常に最善を尽くし、いじめ・不登校がない学校づくりに励みたい。

## 6 学校評議員の方々の学校教育活動や学校運営に関する意見

### <学校教育活動について>

#### (1) 神田（地域）学習について

- ・ 2年生の生活科の学習で、校区探検や「秋まつりの話を聞こう」のときに講師を務めた。地域と触れ合う中で学習できることは、大変よい。
- ・ 子どもたちが成長して、地域を大切に育てる子に育ててほしいし、それを楽しみにしている。

#### (2) わかりやすい授業について

- ・ 少人数指導は、クラス分けに工夫がある。「わかる、できる子への指導」「わからない、できない子への指導」、どこに重点をおいて指導するか考えたい。現状からは、習熟度別にするかTT指導の方が効果が上がるのではないか。わかる子とわからない子を一緒にするとついてこれない子が出る。

#### (3) 家庭学習の習慣化について

- ・ 児童評価は高いが、近年、保護者が忙しく、子どもと接する時間が限られているので、家庭において十分手をかけられていない子がいるのではないかと心配する。

#### (4) 基本的な生活習慣について

- ・ あいさつは、以前よりよくなった。繰り返し、大人（地域）から声をかけていくことが必要ではないか。
- ・ 家庭で、朝起きたらすぐ、保護者が「おはよう」と声をかけるなど、習慣付けも大切である。
- ・ 集団のときは、人の目を気にする高学年が恥ずかしがって声は小さいが、一人のときに「気を付けて帰りなさいよ」と声をかけると、「ありがとうございます」と丁寧に返事は返ってくる。
- ・ 通学団で登校するときは、高学年は、低学年に合わせて歩く速さも配慮できるとよい。高学年には、通学団がばらばらにならないよう「まとめる」という意識を付けさせたい。

### <学校運営について>

#### (1) 不審者が出たときの対応について

- ・ 地域でも見回りをしているが、不審者が出たときにはすぐ警察に連絡したり地域や保護者にメール・FAXで情報を流したりして、大騒ぎにした方が、犯人へのけん制になる。

#### (2) 携帯電話・スマートフォンの指導について

- ・ 実際の所持率に合わせて、フィルタリングの指導など適切に行ってほしい。